



2016 IEEE 13th
International Conference on Solid-State and Integrated Circuit Technology

参加報告書

2016年11月2日
群馬大学大学院
電子情報・数理教育プログラム
小林研究室
柳田 朋則



基本情報

学会名称

2016 IEEE 13th International Conference on Solid-State and Integrated Circuit Technology (ICSICT)

開催期間

2016年10月25日～2016年10月28日

開催地

中国 浙江省 杭州市 白馬湖建国酒店 (White Horse Lake Jianguo Hotel)

発表論文

(1) “High-Frequency Low-Distortion One-Tone and Two-Tone Signal Generation Using Arbitrary Waveform Generator”

Tomonori Yanagida, Shohei Shibuya, Haruo Kobayashi, Kazumi Hatayama

(2) “Sine Signal Generation with Specified Multiple Harmonics Suppression”

Masayuki Kawabata, Koji Asami, Shohei Shibuya, Tomonori Yanagida, Haruo Kobayashi

旅程

10/24 羽田空港出発

10/25 杭州観光

10/26：学会参加

10/27：学会参加

10/28：学会参加（2件発表）

10/29：帰国



学会

ICSICTについて

ICSICTは1986年の第一回から1年おきに開催され、今回で30周年となる学会です。中国の北京大学、復旦大学、浙江大学を中心にアメリカ、日本、台湾、韓国、カナダなどの名だたる大学から参加がありました。ポスターセッションは中国の学生によるポスター発表と、企業からは計測機器メーカーからの展示が目立ちました。

発表

私が発表した信号処理(Signal Processing)のセッションでは、FFTアルゴリズムから画像処理まで様々な話題が繰り広げられました。私の2件の発表は連続しており、計30分間のハードワークとなりました。発表自体は無難に進みましたが質疑応答で、うまく回答が

できなかったことが悔やまれます。聞き取れても言いたいことを表現できない(言葉が出てこない)が多かったです。一件目の発表内容は研究結果がシミュレーションのみだったため、実験結果があればより説得力のある発表になったと思います。

もちろん学会は他の発表を見ることも目的でした。発表のやり方やスライドの作り方にも注目していました。発表者の中には出身国の訛りが顕著な人も結構いて、自身の緊張がほぐれる場面もありました。そんな中、発表が非常にうまく内容がスッと入ってくるような人もいました。英語による発信の仕方として、世界に通用する目指すべき形を見出すことができました。また研究内容も勉強になることが多く、大変有意義でした。



柳田の発表風景



Banquet (築地さんと小島君が Excellent Student Award を受賞。おめでとう！)



ホテルのロビー



中国の学生と昼食

杭州観光

自然と文化のまち、杭州

杭州市は浙江省の市であり、日本の四国地方より少し小さいくらいの面積です。時差は日本より1時間遅れています。中心部は多くの建物であふれていますが、郊外へ行けば豊かな自然が広がっています。杭州が誇る名産品として「龍井茶」があります。また、ユネスコ世界文化遺産に指定されている「西湖」が有名です。中国らしいもの(パンダや辛い料理など)に触れる機会は少なかったが、中国の新たな一面を見ることができました。



超あっさりしたラーメン



雷峰塔（元は石塔だった）



西湖（ユネスコ世界文化遺産）



靈隠寺（中には黄金の大仏が）

交通

杭州は空港からも距離があり、泊まったホテルが郊外にあったため、新幹線、地下鉄、バス、タクシーなど、ほとんどの交通機関を体験できたと思います。新幹線や地下鉄は乗る前に必ず手荷物検査があり安全への配慮がうかがえました(毎度となると面倒くさい)。鉄道の様式に関しては日本とさほど変わりはなく、切符の買い方さえ習得できれば普通に乗ることができます。中国は車の運転が荒いという噂は常々聞いていましたが、本当にそのとおりでタクシーに乗っているときはヒヤヒヤする場面が多くありました。「絶対に車線変更を阻止する車 VS 絶対に車線変更する車」の攻防は凄まじかったです。バスは一律の運賃を乗るときに払うシステムで日本と変わりありません。ただ、つり革や手すりにはしっかり掴まってください。街中には電動スクーターや電動ミニタクシーが目立ちました。排ガスを減らす目的なのか、環境に配慮している姿を垣間見ることができました。

学会を終えて

初の海外ということで、言語、文化、生活様式、価値観の違いを多く経験しました。不安だった言語の壁については発表や質疑応答で最も現われてしまいましたが、日常生活においては案外なんとかなるなと思う場面もありました。今までしきいが高いと思っていた海外に対して、もっと挑戦をしてみたいと感じました。また、築地さんや小島君が賞を取った姿を見て、私も世界に名を馳せたいと感じ、努力していくことを決意しました。

謝辞

今回、国際学会の参加という貴重な経験を得ることができました。このような機会をくださった小林先生、論文や発表内容に意見をいただいた株式会社アドバンテストの川端さん、浅見先生、日頃からアドバイスをいただいた小林・高井研究室の先生、諸先輩方に深く感謝を申し上げます。そして滞在期間中の中国案内など、建龍さんには多大なる助けをいただき苦勞をおかけしました。太谢谢你了！

everyone's smiles



写真提供：小林先生、建龍さん、大河内